

令和六年二月十八日 静岡焼津偉光ひかりのやかた会館改築に向けての信者勉強会

神 示

神見るに この地の信者は

「教え」に「真理」を学ぶ心が 深まり始めている

気持ちは安定し 仕合せ手にする姿も見える

仕事を 奉仕の心で受け止める人々ひとも増え

努力するほど成果も上がる

この地の実体 「孤独の色」も抑え込まれ

「運命」に人生守られる人々ひとも多い

よって 神は この地の偉光会館の救世環境を引き上げる

信者は 家族で偉光会館に出入りでいりを重ね

「真理」で重なる家庭を築く 信念こころを強く持つ時代とき

この思いが深まるほどに 信者の家庭は心一つに重なり

ますます仕合せ・幸福を手にできる

争うこともなく ただただ感謝の心が 家族の心を包み込む

病気 事故・災難を呼び込まず

信者の人生は 神の手の中 守られ 導かれ 救われて行く

この地を救うにふさわしい偉光会館へと 環境を引き上げる

信者は その姿を待つべし